

- 系 統 2液型エポキシ樹脂系コンクリート
- 特 長 1) セメントコンクリートに比べて、物理的強度、化学的性能、耐久性に優れる。
2) コンクリートへの接着性や耐薬品性に優れている。

- 用 途 1) 橋梁伸縮装置の端部補強用樹脂コンクリート

配 合 比

	結合材	骨材			合計
	# 5 0 5	接着剤用 珪砂4号	接着剤用 珪砂7号	乾燥粗骨材 # 8 1 2	
配合比(重量比)	1	1. 5	1. 5	5	9
1 m ³ 当たりの 標準使用量(kg)	2 4 0	3 6 0	3 6 0	1 2 0 0	2 1 6 0

- 荷 姿 1) # 5 0 5…1 0kg セット (主剤+硬化剤)
2) 接着剤用珪砂4号…2 5kg/袋
3) 接着剤用珪砂7号…2 5kg/袋
4) 接着剤用乾燥粗骨材# 8 1 2…3 0kg/袋

可使時間の目安 # 5 0 5の可使時間

結合材のタイプ	冬 用 (W)		夏 用 (S)	
温 度 [°C]	5	1 5	2 0	3 0
可 使 時 間 [分]	6 0	3 0	4 0	2 0

- 比 重 2. 1 5 ± 0. 1 0 (硬化物)

- 使 用 方 法 1) # 5 0 5をセット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。
2) 主剤と硬化剤を、均一になるまで混合攪拌する。
3) 骨材を所定の配合で、パン型ミキサー等で混合攪拌する。
4) 混合した骨材に、攪拌しながら# 5 0 5を加え、均一になるまで攪拌する。
5) コンクリート敷設面にプライマーとして# 5 0 5を塗布する。
6) プライマーの硬化前に、コンクリートを転圧しながら、所定の厚さに仕上げる。

- 使用上の注意 1) 接着面の表面処理を十分に行う。(レイタンス、汚れ、水分の除去)
2) 低温時には、# 5 0 5の主剤や骨材をジェットヒーター等により加温すれば、混合が容易になり、養生時間も短縮することが可能となる。

⚠ 注 意

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 健康上、注意を要する物質を含有しています。 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。 詳細についてはショーボンド # 5 0 5の安全データシート (SDS) を参照してください。 |
|---|